

電波時計 取扱説明書

(デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元

リズム株式会社
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

(Y2208)

※印は販売店記入

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

- 修理部品の保有について**
電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。
- 修理可能期間について**
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

お客様相談室 0120-557-005 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)
お問い合わせに際しては、**時計裏面に表示してある型番をお伝えください。**
例 8RZ○○○ (○印は数字です。)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

ⓘは、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- ❗ **誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

- ❗ **電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**
 - 電池に傷をつけない。
 - 電池を分解しない。
 - 電池をショートさせない。
 - 電池を充電しない。
 - 電池を加熱しない。
 - 電池を火の中に入れない。

- ❗ **梱包用のポリ袋をかぶらない**
窒息する恐れがあります。

- ❗ **電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない**
 - 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
 - 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- ❗ **電池の⊕⊖を正しく入れる**
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。
- ❗ **強い振動や衝撃を与えない**
故障や破損の原因になります。
- ❗ **浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない**
さびや故障の原因になります。
- ❗ **ぬれた手でさわらない**
さびや故障の原因になります。
- ❗ **分解や改造をしない**
けがや故障の原因になります。
- ❗ **液晶から漏れた液に素手でさわらない**
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。
- ❗ **下記のような場所では使わない**
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
 - 直射日光が当たる所。
 - 暖房機器からの風が当たる所。
 - 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
 - 火気のそば。
 - ほこりが多く発生する所。
 - 強い磁気が発生させる機器のそば。
 - 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
 - プール、温泉場などガスの発生する所。
 - 調理場など多くの油を使用する所。
 - ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

静電気の影響について

静電気の影響により正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電池・製品の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はゼロハンテープなどで絶縁してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してならん責任を負いかねますのでご了承ください。

GUARANTEE 保証書				
※品名・型番				
※保証期間	お買い上げ	年	月	日より 1年間
お客様	ご氏名	様		
	ご住所			
	TEL()	-		
※販売店印(所在地、店名、電話番号)				

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について ※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)。
8. 電池の交換。

ソーラー発電と電池について

この時計は、ソーラー発電を併用することにより、電池の寿命を長くしています。

200ルクス程度の明るさで、液晶の表示に必要な程度の電力を発電し、電池の消耗を押さえます。

- ソーラー発電からの蓄電機能はありません。
- ソーラー発電のみでは動きません。必ず電池を入れてご使用ください。
- ソーラーパネルは室内用ですので、直射日光を浴びると劣化して発電効率が悪くなることがあります。

【参考】照度環境の目安

150ルクス 一般的なリビング
300ルクス 明るいリビング内・オフィス
700ルクス 明るいオフィス
☀️寝室や窓のない所では、十分な明るさや受光時間が不足することがあります。

⚠ 注意 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や家具の修繕などに費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

次のような現象のときには、電池を交換するか、電池を取り出す

- 暗い所で液晶表示が薄くなる。
- 表示が消える。
- 電池を入れて5年を経過した。

電池を交換するときの注意

- 古い電池と新しい電池、マンガンとアルカリ電池を混ぜて使用しない。
- 長期間使用しますので、電池を交換するときは、電池に表示されている「使用推奨期間」が、交換する年より4～5年先のものを使用する。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形的に本製品には不向きなものがあります。
(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃ (液晶表示可読温度範囲0～40℃) *結露しないこと
時間精度	表示精度 標準電波受信直後 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)
推奨電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個
光発電	アモルファスシリコン ソーラーセル 屋内用
電池寿命	光発電と電池併用で約5年 (200Lxで毎日8時間光発電した場合) 電池のみで約4.5年 (アラームを30秒/日、照明を3秒/日使用)

標準電波	標準電波を受信して日付・時刻を修正	アラーム機能	セットした時刻にアラームが鳴る
受信局	福島局/九州局自動選択	アラーム精度	表示時刻に対して ±0秒
受信回数	2～3回/日	アラーム音	電子音
受信時刻	2、3、14時 各16分40秒	スヌーズ	アラーム音が約5分間の一時停止
受信ON/OFF	あり ボタン操作にて切替可能	オートストップ	アラーム音が連続2分で自動停止

時刻表示形式	12時間/24時間表示切替	温度表示	-9.9～50℃
カレンダー	2007～2099年まで対応	温度精度	±2℃
照明機能	ライトボタンを押している間、液晶表示面を照明	防滴防塵機能	なし

- ※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。
- ※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。
- ※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。
- ※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

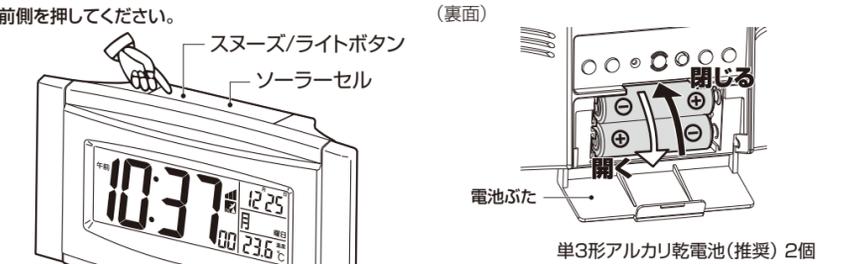
電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

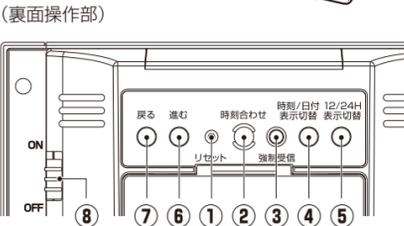
◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。

※時計正面より見てください。液晶は見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。

スヌーズ/ライトボタンは前側を押してください。



注意 電池の⊕を逆に入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。



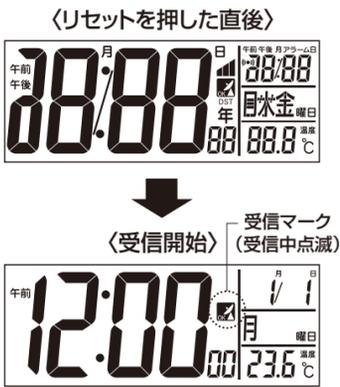
リセットボタンは爪楊枝など細いもので押してください。

- ①リセット 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。押すと2007年1月1日午前12:00、アラーム時刻午前6:00になります。
- ②時刻合わせ 手動で日時を合わせるときに使用。
- ③強制受信 すぐに電波の受信を開始させたいときに押す。
- ④時刻/日付表示切替 時刻と日付の表示位置を切り替えるときに押す。
- ⑤12/24H表示切替 12時間表示(午前・午後付)と24時間表示を切り替えるときに押す。
- ⑥進む アラーム時刻や手動で日時を合わせるときに使用。
- ⑦戻る
- ⑧アラームスイッチ アラームのON/OFF設定。

1 電波を受信して時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには**【手動での時刻合わせ】**をお読みください。

【受信の流れと表示】



※電源投入直後およびリセットを押した直後は、2007年1月1日、午前12:00、アラーム時刻午前6:00に設定されます。

受信マークの変化

電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない 受信しやすい



※受信に成功しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。
※受信に失敗したときに表示されている日時は正しくありません。

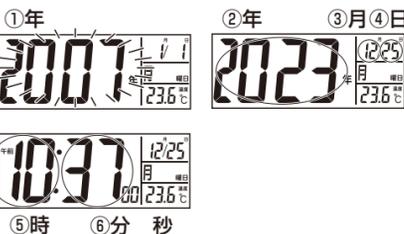
標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える / 受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、**リセット**を押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で日時を合わせて使用してください。

手動での時刻合わせ ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時/分)の順に設定してください。

操作例: 2023年12月25日 午前10:37に合わせる



- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラームが鳴っているときやアラーム時刻が点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

①年(西暦) が点滅するまで時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける。

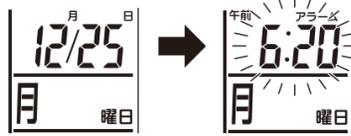
点滅している数値を進むまたは戻るで合わせてから**時刻合わせ**を押すと数値を確認して次に進みます

ボタン 押してすぐ離す 押し続ける
進む 1つ進む 早送り
戻る 1つ戻る 早戻し

- ②年(西暦)を合わせる
 - ③月を合わせる ④日を合わせる
 - ⑤時を合わせる ⑥分を合わせる
※秒は、⑥⑥で進むまたは戻るボタンを押すと「00」になります。
- 以上で設定は終わりです。

2 アラーム機能を使う

アラーム時刻を合わせる



◆午前/午後の表示に注意
表示されていない場合は、24時間制の表示です。

※アラーム状態とは、アラームが鳴っている、またはスヌーズ機能を使用している状態です。

- ①アラームスイッチをOFFにする
アラーム状態*のときは、アラーム時刻を設定することができません。
- ②進むまたは戻るボタンを押す
「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が点滅。
- ③アラーム時刻を合わせる
ボタン 押してすぐ離す 押し続ける
進む 1分進む 早送り
戻る 1分戻る 早戻し
- ④約5秒間ボタン操作をしないとアラーム時刻合わせを終了します。
必要に応じてアラームのON/OFFを切り替えてください。

アラームのON/OFF設定

【アラームON】 アラーム時刻表示例



スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すとアラームが止まり、約5分後にまた鳴り出します。スヌーズは7回まで繰り返すことができます。8回目でアラームは止まりますが、アラーム機能はONのままです。

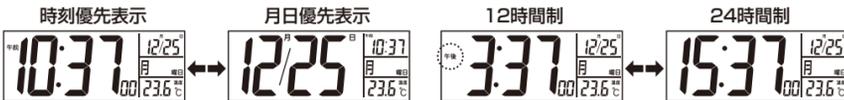
アラームオートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分で止まります。アラーム機能はONのままです。

表示について

時刻/日付優先表示の切り替え

◆時刻/日付表示切替ボタンを押すと、時刻と日付の表示位置を切り替えることができます。



※電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻および現在時刻の設定中は、表示の切り替えはできません。

温度表示について

センサーが本体内部にあるため、周囲の温度変化をすぐには反映しません。

測定範囲を超えた場合の表示

温度: [HH.H] 50℃を超える高温 [LL.L] -9.9℃未満の低温

※本製品は室内用ですので、室内の温度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度管理を行う用途には適していません。

照明について

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。ボタンを押している間、液晶表示面を照明します。

Q. 暗くなると表示が消えて止まる。

乾電池が消耗したためです。乾電池を交換してください。 ※「ソーラー発電と電池について」参照

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jij.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

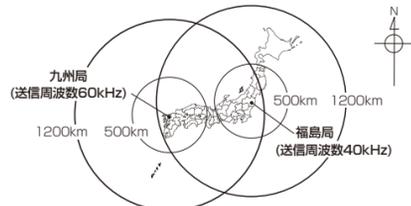
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能OFF(無効にして手動で時刻を合わせる)

リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。○「ビィ」と鳴ってから押してください。○OFFになると「ビィ」と鳴りません。○日付と時刻は手動で合わせてください。

受信機能ON(有効にして受信を開始する)

戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押して離すと「ビィ」と鳴って受信を開始します。その後に戻るボタンを離してください。○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。

強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを押すと受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。

- 次のようなときは受信を開始しません。
 - アラーム状態のとき
 - 手動で時刻またはアラーム時刻を設定しているとき
 - 受信機能がOFFになっているとき

リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2007年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00になります。受信機能がONのときは、受信を開始します。